

**NEWS RELEASE**

2017年10月19日  
学校法人 聖路加国際大学  
聖路加国際病院

**2017年10月26日(木)開催の 第45回日本救急医学総会・学術集会にて  
『築地市場におけるターレットトラックによる外傷186例の検討』の  
調査結果を公表  
～豊洲新市場移転に向けて動線の整備や安全対策が課題～**

このたび、築地市場の長年のローカル問題である小型運搬車「ターレットトラック」による外傷186例について、当院救急部の清水真人医師が初めて調査しました。受傷者が歩行者の場合は骨折を伴うような下肢外傷が、ターレット運転中の自損の場合は重症頭部外傷が多いことがわかり、豊洲新市場移転に向け、動線の整備やヘルメット・ベルト装着義務化など課題が残る結果となりました。

■ターレットトラックとは

ターレットトラックとは、英語で円筒形の機構を意味する「Turret」に由来する、小回りのきくオープンカータイプの立ち乗り運搬車。通称「ターレー」と呼ばれ、築地市場内ではこれらが縦横無尽に走り回り多くの水産物・青果他が搬入されていますが、以前から市場内歩行者との交通事故が多く問題となっていました。



■調査結果

2011年1月～2017年4月までに聖路加国際病院救急外来を受診したターレーによる外傷186例を検討。平均年齢50.5歳(4-92歳)で、男性が多く(88.7%)、救急搬送症例は152例(81.7%)でした。市場が賑わう午前3時～12時に約8割が来院、入院した症例は20例(13.1%)で、8例(12.5%)は重症例でした。下肢外傷が最も多く、ターレットに足を挟まれた歩行者にみられ、これらの4人に1人で骨折を認めました。重症率が高かったのは頭部外傷例で、いずれもターレット運転中の自損で、ヘルメット装着はありませんでした(現状、法規上は小型特殊自動車の扱いであり、ヘルメット装着・ベルト装着の義務はありません)

■発表概要について

【演題名】 築地市場におけるターレットトラックによる外傷 186 例の検討

-豊洲新市場移転に向けて-

【開催日】 2017 年 10 月 26 日（木）

【時 間】 15:10～16:10 ※同時時間帯 7 人中 7 番目の発表です

【場 所】 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング 2F ゴールデンルーム

【お問い合わせ先】

学校法人 聖路加国際大学 広報室

TEL : 03-6226-6366 FAX : 03-6226-6376

URL : <http://hospital.luke.ac.jp/>

※データの掲載を希望される際は、必ずご一報ください。